

3月の入学試験・学年末試験・3大検定をしっかりと準備し受験。

試験が終わったその日から、新学年の予習・次の3大検定の準備をスタートしよう！！

開倫塾

塾長 林明夫

3月の入学試験・学年末試験・検定試験はしっかりと準備し受験。試験が終わったその日から、新学年に向けての準備をスタート、第一志望校合格・学校成績（校内順位）アップ・検定試験合格を実現しましょう！！

Q1：試験の多い3学期の勉強の仕方は何ですか。

A：(1)まず初めに一言。お陰様で、開倫塾は10月に創立45周年を迎えます。皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

(2)開倫塾は、創業以来45年間一貫して、「効果の上がる勉強の仕方」を塾生・保護者・地域社会の皆様にお伝えしてきました。この45年の経験を踏まえ、「3学期の勉強の仕方」をお話させていただきます。

(3)「3学期の勉強の仕方」のうち、前半の「入学試験」「学年末試験」「検定試験」で一番大切なことは何か。それは、

- ①「試験勉強に集中すること」。
 - ②「長時間、自分の力で勉強する力」を身に着けること。
 - ③そして、「すみからすみまで、全部覚えること」。
- この3つです。



Q2：一つずつ、詳しくお話しください。

A：(1)一つ一つの試験はどれも、皆様の人生にとって、とても「価値」がある「大切」なものです。

〈なぜ価値(大切)があるのか〉

- ①しっかりと準備をして、しっかりと勉強すれば、これまで学んだことの「理解」を深め、確実に「身に着ける(定着)」ことができるからです。自分のものとすることができる、大切な試験だからです。
- ②入試に合格すれば、希望する学校への進学が実現するからです。
- ③学年末試験で頑張れば、学校でよい成績を取ることができるからです。
- ④検定試験に合格すれば、入試や学校での勉強や社会に出てからも役に立つからです。



○このように、一つ一つの試験の「価値」「大切さ」を、まずは自分の力でしっかり考え、認識し・かみしめましょう。

(2) 試験の「価値」「大切さ」をしっかり考え、認識し・かみしめたうえで、「試験勉強に集中すること」。そして、試験の当日まで、「長時間、自分の力で勉強すること」です。



〈なぜ「長時間」なのか〉

① 3つの試験とも、学ぶ内容がたくさんあるので、短い時間では勉強が終わらないからです。

② 「もっと時間があれば合格したのに、よい成績が取れたのに」と、試験後に後悔する人がたくさんいます。それは、勉強時間が足りなかったからです。勉強をスタートするのが遅かったからです。

(3) 〈なぜ「自分の力」なのか〉

① 自分でやる気になり、自分から進んで勉強しなければ、「たくさんの内容」を「理解」し、「身に着ける(定着)」させ、「スミからスミまで全部覚え」、「よい点数を取る」ための勉強を、試験前日まで「長時間」続けることができないからです。

② 試験勉強のポイントは、テキストやノート、一度解いた問題を、繰り返し何回も、何十回、何百回も学び直すこと。そして、「スミからスミまで覚えること」です。

③ 学び直した「回数」が、重要です。



Q 3 : 試験が終わったらどうしたらよいのですか。

A : (1) ① 試験が終了した「その日」から、次の学年の予習、検定試験の次の級の準備をスタートすることです。

② 来年受験を迎える学年は、学年末試験が終了したその日から、最終学年の予習をスタート。一日でも早く、最終学年の学習内容を修了させること。そして、本格的な受験勉強に一日でも早く着手することです。

③ GW(ゴールデン・ウィーク)が終わるまでに、1教科でも多く、高3・中3・小6の学校教科書の予習を、完全に修了させることです。なぜか。

(2) ① 先ほどお話したような方法で、入試や学年末試験、検定試験の試験前日まで勉強した人は、頭がさえわたっています。

② また、それまで学んだ内容がしっかり「理解」され、「身に着いている(定着している)」ので、次の学年の内容、検定試験の次の級の内容に、スーッと入ることができるからです。

③ これ以上のチャンスはありません。

(3) 〈もう少し詳しくご説明します〉

しっかり読み、ご理解ください。

① 新しく学ぶ内容を 100 % 完全に「理解」するには、それまで学んだ内容を 100 % 「理解」することが大切です。



- ② 3 学期の 3 つの試験で、それまでに学んだ内容をほぼ 100 % 「理解」していますので、次の学年の内容や検定試験の次の級の内容を、100 % 「理解」する条件が一番整っているのは、受験当日、受験終了直後だからです。
- ③ 試験勉強をして頭がさえわたり、それまで学んだ内容が頭にしっかり入っている間に、次の学年の予習や検定試験の次の級の勉強をスタート。
- 一番よいスタートの時期は、試験終了の当日です。1 教科でも OK です。開倫塾の自己学習スペースを活用して、ぜひ実行してくださいね。

Q 4 : 不得意科目はどうしたらよいのですか。

A : (1) 不得意教科こそ、今の学年が終わる 3 月 31 日までに、よくわからないところまで遡り(遡り)、「学び直し」しましょう。

(2) 何を用いたらよいか。一度勉強したことのある学校の教科書、開倫塾のテキスト、できるだけやさしい、説明がていねいな教材を用いて「学び直し」しましょう。



- (3) ① 不得意教科の克服だけではなく、得意教科をどんどん伸ばすことも大切です。
- ② そんな時に役立つのが、「イラストがたくさん入っている教材」「マンガの教材」です。たくさんありますよ。
- ③ 中学高学年や高校生は、講談社の新書本シリーズの「ブルーボックス」をおすすめします。

Q 5 : 最後に一言どうぞ。

A : 「勉強に遠慮は一切不要」です。

- (1) 得意科目や得意分野、好きな科目、好きな分野は、どんどん先へ先へ、学年や学校の枠を飛び越えて、好きなだけ勉強しましょう。
- (2) 小学生が中学生の、中学生が高校生の、高校生が大学生の、大学生が大学院生の勉強することをためらってはなりません。
- (3) 教科書や「ブルーボックス」のような参考書を買って求め、好きなだけ勉強しましょう。
- 同時に、教科書で紹介されている作品や、「古典」と呼ばれる本も、多少難しいかもしれませんが、歯を食いしばってがんばって挑戦しましょう。一語一語ていねいに、行きつ戻りつしながら読めば、必ず参考になります。



それでは、がんばって。